

【プロポーザルの評価基準】

評価項目	着眼点・視点（配点内訳を括弧内に記載）	配点
目的・対象者	経済的困窮にある世帯の児童等に不足しがちな生活習慣やコミュニケーション能力等の社会的なスキルの向上等を図るため、児童等及び保護者への総合的な支援に取り組めるか。	10点
個人情報・プライバシーの取扱い・守秘義務	個人情報保護のための対策が十分にあり、信頼できる内容と認められるか。	10点
土曜会場の運営	<p>(1) 責任者、生活・学習指導員、生活・学習支援員及びボランティア（30点） 本事業に係る人人体制・研修内容が具体的に明記されているか。責任者は豊富な経験がある者を登用できるか。</p> <p>(2) 受託者の役割（10点） 児童等の支援内容が途切れることのない仕組みや環境づくりがなされているか。</p> <p>(3) 学習支援（20点） 児童等一人ひとりの学力や意欲に寄り添い、学習習慣の定着等に寄与した支援が行えるか。さらに、中学生コースの中学2年生については、中学3年生の受験期に向けた学習習慣への意識及び進学への支援に取り組む体制があるか。</p> <p>(4) 生活支援（25点） 学習のみならず、学習に取り組むための土台となる児童等の自己肯定感や意欲等の醸成に積極的に取り組む姿勢や仕組みがあるか。</p> <p>(5) 体験イベント（10点） 家庭の事情等により不足する社会的経験を補うとともに、児童等の社会的意識やキャリア教育に寄与するイベント内容となっているか。</p> <p>(6) 保護者との連携（10点） 支援にあたって、保護者の理解と家庭での声かけなどの協力を促し、児童等が安心し、継続して通えるような意識の醸成ができるか。保護者に対しても十分配慮した、適切な声かけができるか。</p>	105点
直営会場の運営支援	<p>直営会場におけるスタッフの児童等への支援の向上を目的として、直営の全会場を定期的に巡回し、ノウハウを活用してスタッフに助言するなど、児童等の状況に応じたきめ細かい支援が可能となる協力体制はあるか。また、市へ情報共有を行う体制が整っているか。</p> <p>また、児童等の個別の状況によっては、専門的な知識を有するスタッフが巡回に同行できる体制が整っているか。</p>	25点
研修体制	本事業の目的の達成にあたり、直営会場を含めたスタッフに対して事業を理解するための事前研修や能力向上に資する研修等の体制があるか。また、研修の目的、内容、頻度等が具体的提案があるか。	20点
事業評価	テストやアンケート、面談内容等を用いて客観的な支援計画を設計でき、計画に基づいた詳細な記録がとれる手法であるか。	10点
経済性	提案された内容に見合った価格か。	20点